

公方家御下知御教書有ト云へ共更ニ不用之而剩地下人等ニ心ヲ合セ皇家ノ御代官ヲ追出シ

〔今井軍記〕嘗國諸侍に赤松常陸彦五郎謀反に同心せしめ國一揆と號し上意を違背せしむとい

へども高遠一人同心せしめず爲上意實生寺殿生觀御下向を相待申私宅に五十ケ日御座あり

月瀬御退治を加へられし時七百三十餘人御被官に參り其時十三條郷地頭職仰付られ出雲國

佐田庄朝山分本領たる間返下され○下

〔慶應元年武鑑〕松平出羽守定安大廣間從四位上少將元治元年四月日 拾八万六千石 御在城出雲島根郡松江 江戸ヨリ 二百

廿三里餘

輝元領慶長五堀尾帶刀同信濃守同山城守以後京極

宰相高次寛永十五松平出羽守直政以後代々領之

帝鑑間朝散大夫 松平佐渡守直已 三万石 御在城雲州能義郡廣瀬 江戸ヨリ 二百廿二里

寛文年中ヨリ松平上野 帝鑑間朝散大夫 松平主計頭直哉 一万石 御在所雲州能儀郡母里 江戸ヨリ 二百三十三里

寛文年中ヨリ 領之○節略

〔倭名類聚抄五〕出雲國註管十田九千四百三十五町 八段二百八十五步

〔拾芥抄中末〕出雲中十郡中略田九千九百六十八町

〔海東諸國記〕出雲州 郡十水田九千四百三十町八段

〔日本鹿子十一〕出雲國十二郡大上國東西二日半知行高二十二万三千四百七十石

〔官中秘策四〕出雲國 十郡中略

一石高貳拾八万貳千四百八拾九石餘

〔吹塵錄五〕人口及國高天保度御國高調略中

藩封

田數 石高